

農村環境創造基金事業の 実施状況について

令和6年2月19日

富山県農村環境創造基金の概要と令和5年度の取組状況

富山県農村環境創造基金概要

「豊かな自然環境保全」や「都市農山村交流」等の活動の活性化を図るため、基金を造成（造成年度H5～H12）

基金造成額：13億2千万円（負担区分：国1/3、県2/3）

運用益を含めて前年度末の基金残高の5%以内で事業を実施（令和5年4月の基金実施要領改正にて3%から5%に引き上げ）

R5年度富山県農村環境創造基金活用状況（表1参照）

- ・ R4年度末時点で約981百万円の残高
- ・ R5年度の基金を活用した事業費の総額は29,271千円（見込）

基金造成年度	令和4年度末の基金残高	令和5年度基金事業	
H5～H12年度	980,829千円	(1)豊かな自然環境保全対策 (2)都市農山漁村交流対策 (3)県民の意識づくり推進	14,223千円 7,051千円 7,997千円
		計	29,271千円

表2. R5年度富山県農村環境創造基金活用事業

単位（千円）

R5年度富山県農村環境創造基金活用事業（表2参照）

- (1) 豊かな自然環境保全対策
- (2) 都市農山漁村交流対策
- (3) 県民の意識づくり推進

を目的として各種事業を実施

事業名	予算額（基金分）	所管	区分
① 棚田保全活動支援事業	500	農村振興課	(1)
② 美の里保全活動支援事業	750	農村振興課	(1)
③ 中山間地域チャレンジ支援事業	2,750	中山間地域対策課	(1)
④ とやま農業・農村サポーター活動支援事業	1,387	農村振興課	(1)
⑤ 中山間地域保全パートナーシップ推進事業	1,863	農村振興課	(1)
⑥ 鳥獣被害防止総合対策事業	6,703	農村振興課	(1)
⑦ とやま帰農塾推進事業	5,301	農村振興課	(2)
⑧ ふれあい創出地域間交流支援事業	600	農村振興課	(2)
⑨ 田んぼの生き物調べ	622	農村振興課	(3)
⑩ 水土里探訪ウォーク	1,348	農村整備課	(3)
⑪ とやまの農山村写真展	2,275	農村振興課	(3)
その他（ふるさと夢とやま発行、景観保全活動支援ほか）	5,172	農村振興課	

計

29,271

令和5年度の各事業取組状況

豊かな自然環境保全対策

県内の農村が有する豊かな自然環境の保全のため、各種保全活動や地域活動に対して支援する。

例．棚田地域保全活動支援事業の実施

耕作放棄地活用、農村体験活動などの棚田保全活動を支援
<対象地域> 棚田保全活動を実施することにより集落の活性化が見込まれ、かつ継続的に活動が期待できる地域
<R5実績> 県内2地区に支援（氷見市細越地区、氷見市長坂地区）



ハトムギ種まき会
（氷見市細越）



棚田オーナー事業
（氷見市長坂）

都市農村交流対策

都市農村交流を通じて、都市には無い農山村の魅力を肌で感じてもらうほか、県との関わりの深い関係人口の増加を図る。

例．とやま帰農塾の開催

富山県内の特色ある田舎暮らし体験ができる「とやま帰農塾」を開講
<R5実績※> (開催回数) 県内7市町で9講座開講
(参加者数) 58名
(移住者) 50名(累計) ※8講座終了時点



酪農体験の様子
（国吉塾）



ビオトープ作り体験の様子
（南砺塾）

県民の意識づくり推進

県民に対して農村や農村が持つ多面的機能の素晴らしさを普及・啓発し、豊かな農村環境を育む意識を創造する。

例．水土里探訪ウォークの開催

ウォーキングを通じて、土地改良施設の役割や地域の歴史について理解を深めてもらうためのイベント
<R5実績> (開催日時) 令和5年6月3日
(開催場所) クロスランドおやへ周辺
(参加人数) 144名



ウォーキングの様子



ウォーキングの目玉施設
茶ノ木排水路

今後の展望

課題

・中山間地域において、各種課題が存在

- ・高齢化や人口減少の進行に伴う担い手減少
- ・農業生産活動や地域コミュニティ機能の低下
- ・新型コロナウイルス感染症によって縮小し、回復していない地域活動や都市農村交流 等

⇒基金事業の継続的な実施と、県内各地で展開されている地域活動に対するきめ細かな支援が必要

今後の取組方針

- 1 令和2年3月に策定した『富山県中山間地域創生総合戦略』に基づき、他部局の施策と密接に連携
- 2 中山間地域の有する多面的機能の発揮を図るため、地域資源の保全やその利活用を推進
- 3 多様な都市農村交流の推進によって関係人口を増加